

2014. 12. 22



NPOフォーラム・だより No.63

NPO法人安房文化遺産フォーラム 代表 愛沢 伸雄

〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館 TEL&FAX:0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト http://bunka-isan.awa.jp

会員・寄付募集中！ ⇒ 郵便口座 00260-1-97307 名義:NPO法人安房文化遺産フォーラム

年会費=A会員 2,000 円(総会出席権あり) / B会員:個人 1,000 円(ニュースのみ送付)・法人 10,000 円

◎ちばコラボ大賞（千葉県知事賞）を授与されました◎

【活動事例】 青木繁「海の幸」誕生の家・小谷家住宅を活かした漁村のまちづくり

千葉県では、NPOが地縁団体や行政機関等と連携して、地域の課題解決に取り組んでいる活動事例から、モデルとなるような優れた事例を「ちばコラボ大賞(千葉県知事賞)」として表彰し、連携の重要性や効果を広く知らせ、促進を図っています。このたび、私たちの連携活動が平成 26 年度「ちばコラボ大賞」に選ばれました。



連携団体	役割
*NPO法人安房文化遺産フォーラム	事務局、企画、広報、コーディネーター
*青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会	小谷家住宅(館山市指定文化財)の管理責任者 周辺地区の草刈り等整備、地域振興等
*NPO法人青木繁「海の幸」会	全国の画家組織、小谷家住宅の保存基金創出 青木繁「海の幸」オマージュ展(チャリティ)開催
*富崎地区コミュニティ委員会	地域住民への呼びかけ、地域活性化活動の住民参画
*布良崎神社	青木繁ゆかりの来訪者に氏子らが解説ガイド
*館山美術会	青木繁「海の幸」オマージュ展に協賛出展
*NPO法人全国生涯学習まちづくり協会	まちづくり人材養成とネットワーク構築
*千葉県歴史教育者協議会	地域教材による歴史・社会科教育の実践および研究協力
*財団法人石橋財団石橋美術館	『海の幸』所蔵者、画像使用・研究・告知等・保存基金の協力
*青木繁旧居保存会	青木繁の故郷久留米市の生家、告知等の協力
*くるめつつじ会	久留米市の首都圏在住者の組織、広報協力
*館山市	小谷家住宅の保存活用に関する事業指定の館山ふるさと納税
*館山市教育委員会	館山市指定文化財の保存・活用に関する協議

青木繁《海の幸》誕生の家(館山市指定文化財)

小谷家住宅の修復工事がいよいよ始まります。

ふるさと納税のご支援をお願いします。

第33回歴史教育者協議会関東ブロック千葉県集会／第48回千葉県歴史教育者研究集会

◎ 1月17日(土)・18日(日) 船橋市勤労市民センター

参加費： 市民・学生 1,000 円、教員 2,000 円、学生ボランティア・高校生以下は無料

- ・地域実践報告「戦死者の墓石からみる戦争」 高木郁次(中学校教員)
- ・記念講演「歴史の討論授業が切り拓く学びの地平」 和田悠(立教大学准教授)
- ・地域実践報告「戦死者の墓石からみる戦争」／記念講演「歴史の討論授業が切り拓く学びの地平」
- 【分科会】・愛沢伸雄「館山病院と東京養育院安房分院の歩みからみる地域史～福原有信と渋沢栄一をめぐるネットワーク」
- ・池田恵美子「絵画から読み解く館山まるごと博物館～青木繁『海の幸』と倉田白羊『水門』の誕生背景」
- ・関和美「戦中戦後の医療体制と図書館を考える～NPOの戦跡ガイド活動に参加して」
- ・河辺智美「安房の高校生によるウガンダ支援・交流 20年のバトン～草の根国際交流が地域と学校をつなぐ」

■ ヘリテージまちづくり講座：

* 戦争遺跡ガイド学習会～布良陣地フィールドワークと聞き取り調査

◎ 1月24日(土)10:00～12:00 富崎公民館

本土決戦に備えて館山市最南端の布良地区に作られた陣地などをめぐる。

* 館山市観光協会研修～館山まるごと博物館バスツアー

◎ 1月27日(火)9:30～15:00

観光協会会員を対象に、青木繁ゆかりの漁村・布良、福原有信ゆかりの松岡をはじめ、安房神社宝物殿・館山海軍砲術学校・見物の海岸段丘など、魅力ある多彩な地域資源をめぐる。

* 講座「布良星と布良崎神社と循環型社会」

◎ 1月28日(水)10:00～11:30 布良崎神社

講師：木内鶴彦（彗星捜索家・環境活動家）

* シンポジウム館山まるごと博物館～戦跡と文化財を活かした持続可能なまちづくり

◎ 2月21日(土)13:30～16:00 南総文化ホール小ホール

地域報告：館山のエコミュージアム運動の展開 長谷川會乃江(中央大学兼任講師)

パネルディスカッション：戦跡と多様な文化遺産を活かしたヘリテージまちづくり

十菱駿武・村上有慶(戦争遺跡保存全国ネットワーク共同代表)

杉江敬(館山市市長公室企画課副課長)・愛沢伸雄(NPOフォーラム代表)

予告 「戦後70年」の2015年9月5・6日に、第20回戦争遺跡保存全国シンポジウム館山大会を開催！

◆ ツアーガイド&講演のスケジュール

- 1月 4日(日)9:30～12:00 赤山地下壕ガイドサービス
- 1月11日(日)10:30～14:30 中野区共産党後援会 45名＝座学・赤山
- 2月 1日(日)9:30～12:00 赤山地下壕ガイドサービス
- 2月 7日(土)11:00～16:00 君津市八重原公民館 ＝座学・赤山・かいた村
- 2月21日(土)9:30～12:00 赤山地下壕ガイドサービス
- 2月27日(金) 障害者福祉大会 80名＝かいた村
- 3月 1日(日)9:30～12:00 赤山ガイドサービス
- 3月 4日(水)10:30～14:30 浦安市日の出公民館 20名＝座学・赤山・布良
- 3月10日(火)11:00～16:00 ふなばし女性会議 9名＝座学・赤山・かいた村
- 3月19～20日(木金)JR東日本ヒューマン研修 50名

毎月第一日曜の午前は、個人・小グループ向けに赤山地下壕のガイドサービスをしています。

ガイドの見習い、サポーターを随時募集しています。関心のある方はツアーガイドにご同行下さい。

【訃報】 ご冥福をお祈りします。合掌

* 秋山巖氏 元落下傘兵・版画家

2014年9月15日享年93歳。館山海軍航空隊で訓練した海軍初の落下傘部隊1,500名のひとりとして従軍し、重要な証言者であった。戦後は太平洋美術学校で坂本繁二郎に師事し、版画家の棟方志功の門下生となりました。俳人種田山頭火の俳句を題材にした作品などで知られ、その作品は大英博物館など海外の美術館にも多く収蔵されています。70歳から梵字の読み書きをマスターする努力家の半面、自らを「偉大なる爺」と称するお茶目な芸術家で、生涯館山を愛していました。

* 愛沢美代様

2014年11月18日享年98歳。愛沢伸雄代表のご母堂。北海道下川町。若い頃は、北海道の北海タイムス新聞社に勤務し、経済欄を担当していました。生涯、活動的で社会派の女性であり、最期まで新聞を愛読していました。

